



今年度から川崎市サッカー協会シニア委員長を務めることとなりました土屋です。これまで神奈川県サッカーにおける勢力図は、横浜・湘南が中心となってきた部分は否めませんでした。しかし、昨年は川崎フロンターレが念願のJリーグ初優勝を飾り、川崎のサッカー界も盛り上がりを見せてきました。とどろき陸上競技場の観客動員が右肩上がりなのはその証かと思います。

そんな中、微力ではありますが川崎のシニアサッカーのお手伝いできればと思い大役をお引き受けいたしました。今年度も各委員とともに生涯スポーツの推進を目標に活動していきたいと思えます。

さて、今年度は40雀16チーム（1部8チーム、2部8チーム）、50雀6チームが登録して、2月25日からリーグ戦がスタートしました。40雀には40雀の、50雀には50雀のサッカーがあると思えます。各チームの特色を生かしてプレーを楽しんでほしいと思えます。

前任の陣内前委員長に引き続いて、2020年東京オリンピック開催に合わせた「南北戦」をシニア委員会の目標とし、元気で楽しい生涯サッカーを目指して活動していきたいと思えます。これまでお力添えいただいた皆様方に感謝するとともに、これからも変わらぬご支援をよろしくお願ひいたします。

2018年度 シニア委員長 土屋 徹